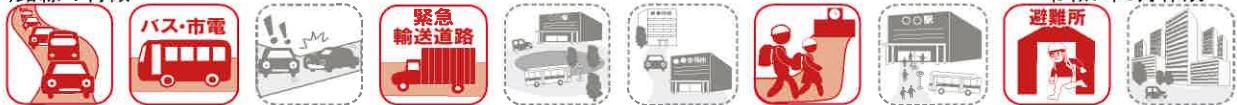


(参考)個票 一覧

| | | | |
|----------------------|-----------|-----------|----|
| ● 環状通 | · · · · · | 1 | |
| ● 札幌北広島環状線（仮称）札幌江別大橋 | · · · · · | 2 | |
| ● 横新道 | · · · · · | 3 | |
| ● 篠路駅東通 | · · · · · | 4 | |
| ● 南1条通（札幌駅前通～福住・桑園通） | · · · · · | 5 | |
| ● 西7丁目通 | · · · · · | 6 | |
| ● 福住・桑園通 | · · · · · | 7 | |
| ● 米里・行啓通 | · · · · · | 8 | |
| ● 新琴似第5横通 | · · · · · | 9 | |
| ● 屯田・紅葉山通 | · · · · · | 10 | |
| ● 大野地第1中通 | · · · · · | 11 | |
| ● 石山・藤野通 | · · · · · | 12 | |
| ● 屯田・茨戸通 | · · · · · | 13 | |
| ● 山本通 | · · · · · | 14 | |
| ● 北郷公園南通 | · · · · · | 15 | |
| ● 厚別川左岸通 | · · · · · | 16 | |
| ● 西5丁目・樽川通 | · · · · · | 17 | |
| ● 花畔札幌線 | · · · · · | 18 | |
| ● 石山・穴の沢通 | · · · · · | 19 | |
| ● 山本小野津幌川沿線 | · · · · · | 20 | |
| ● 雁来篠路連絡線及び豊畑通線 | · · · · · | 21 | |
| ● 五輪通 | · · · · · | 22 | |
| ● 清田通 | 【R1年度完了】 | · · · · · | 23 |
| ● 北5条・手稻通 | 【R1年度完了】 | · · · · · | 24 |
| ● 篠路駅西通 | 【令和3年度完了】 | · · · · · | 25 |
| ● 新琴似・屯田通 | 【令和3年度完了】 | · · · · · | 26 |
| ● 宮の森・北24条通 北24条桜大橋 | 【令和5年度完了】 | · · · · · | 27 |
| ● 新琴似3番通 | 【令和5年度完了】 | · · · · · | 28 |
| ● 真駒内御料札幌線 | 【令和5年度完了】 | · · · · · | 29 |

環状通

(1)路線の特徴



令和6年3月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・札幌都市圏の骨格幹線道路網の形成
- ・地域景観、地域防災力の向上

(3)事業概要

| 路線名 | 環状通 |
|-----------|----------------|
| 事業区間 | 菊水・旭山公園通～西7丁目通 |
| 事業延長 | 2830m |
| うち、事業着手区間 | 米里・行啓通～西7丁目通 |
| うち、事業着手延長 | 2030m |

現在の道路の状況

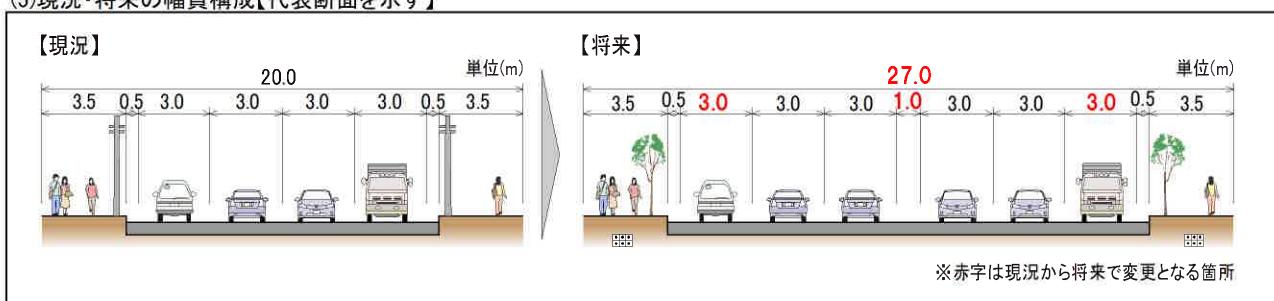
事業区間(整備前)



(4)位置図



(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

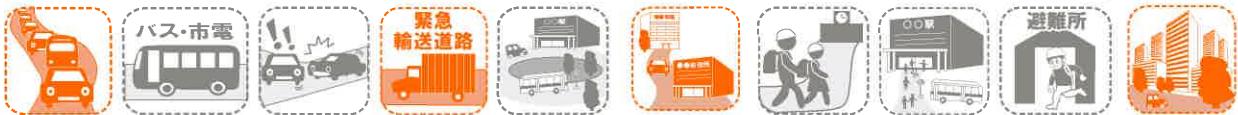
| 指標 | 整備前 | ⇒ | 整備後 | 【グラフ】 |
|-------------------------------|-------------------------------|-----------------|-----|-------------------------------|
| ②走りやすさ | 車線数増により交通の円滑性が向上 | | | ①防災力向上に資する道路の整備状況 |
| ランク4 車線数4 | ⇒ | ランク5 車線数6 | | ②走りやすさ |
| ③バス運行のしやすさ | 道路が広がりバス運行の円滑性が向上 | | | ③バス運行のしやすさ |
| ランク4 車道幅員13m | ⇒ | ランク5 車道幅員20m | | ④災害時の輸送のしやすさ |
| ④災害時の輸送のしやすさ | 災害時に緊急輸送路として活用可能 | | | ⑤骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況 |
| ランク3 車道幅員13m | ⇒ | ランク5 車道幅員20m | | ⑥電線地中化により道路の防災力が向上 |
| ⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況 | 道路整備により都市の骨格となる幹線道路が形性または連絡強化 | | | ⑦電線共同溝整備 |
| ランク1 整備なし | ⇒ | ランク5 整備あり | | ⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況 |
| ⑭防災力向上に資する道路の整備状況 | 電線地中化により道路の防災力が向上 | | | ⑨電線共同溝整備 |
| ランク3 道路幅員15m超 | ⇒ | ランク5 道路幅員20m | | ⑩電線共同溝整備 |

(7)備考

上記の他に、⑮景観向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

札幌北広島環状線（仮称）札幌江別大橋

(1)路線の特徴



平成27年10月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・札幌都市圏の骨格幹線道路網の形成
- ・札幌市と江別市を結ぶ道路ネットワークの形成
- ・地域間の連携強化

(3)事業概要

| | |
|-----------|--------------------|
| 路線名 | 札幌北広島環状線（仮称）札幌江別大橋 |
| 事業区間 | 福移沼端線～江別市界 |
| 事業延長 | 700m |
| うち、事業着手区間 | - |
| うち、事業着手延長 | - |

現在の道路の状況

事業区間(整備前)



(4)位置図

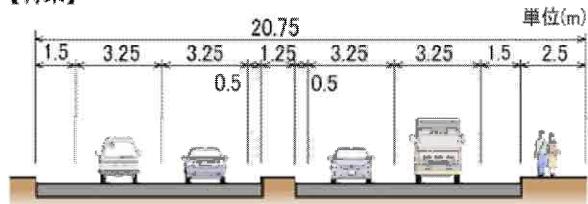


(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】

【現況】

現道なし

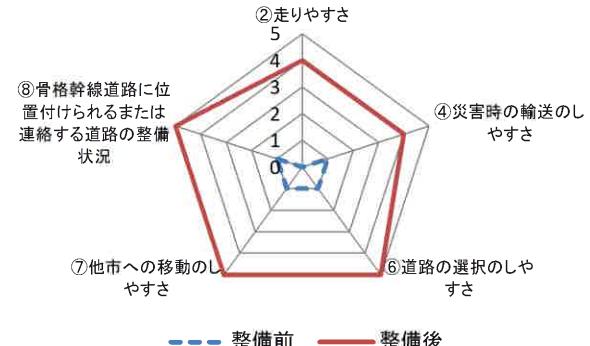
【将来】



(6)整備効果

| 指標 | 整備前 | ⇒ | 整備後 |
|-------------------------------|-------------------------------|------|------------|
| ②走りやすさ | 車線数増により交通の円滑性が向上 | - | ランク4 |
| 車線数- | 車線数1 | ⇒ | 車線数4 |
| ④災害時の輸送のしやすさ | 災害時に緊急輸送路として活用可能 | ランク1 | ランク4 |
| 車道幅員0m | 車道幅員0m | ⇒ | 車道幅員17.75m |
| ⑥道路の選択のしやすさ | 道路の整備により、選択可能な道路が増加 | ランク1 | ランク5 |
| 整備なし | 整備なし | ⇒ | 整備あり |
| ⑦他市への移動のしやすさ | 道路の整備により、他市との連絡が強化 | ランク1 | ランク5 |
| 整備なし | 整備なし | ⇒ | 整備あり |
| ⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況 | 道路整備により都市の骨格となる幹線道路が形成または連絡強化 | ランク1 | ランク5 |
| 整備なし | 整備なし | ⇒ | 整備あり |

【グラフ】

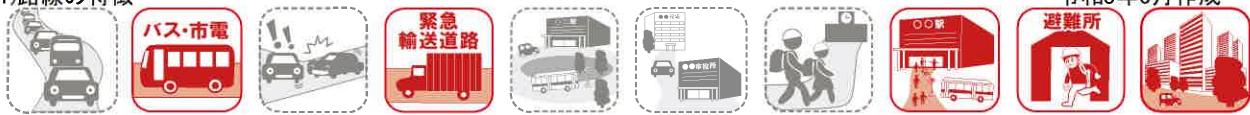


(7)備考

上記の他に、⑪まちづくりを支援する道路の整備状況 ⑫防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

横新道

(1)路線の特徴



令和3年3月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・交通結節点へのアクセス性向上
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・篠路駅周辺地区の市街地整備の促進

(3)事業概要

| 路線名 | 横新道 |
|-----------|-----------------|
| 事業区間 | 東8丁目・篠路通～上篠路循環通 |
| 事業延長 | 770m |
| うち、事業着手区間 | - |
| うち、事業着手延長 | - |

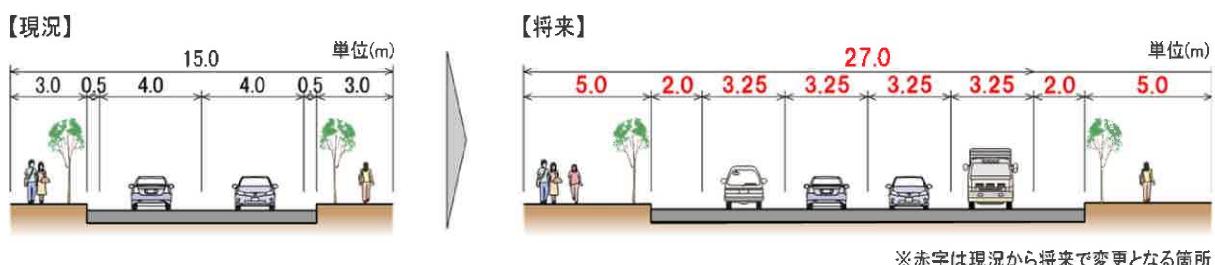
現在の道路の状況



(4)位置図



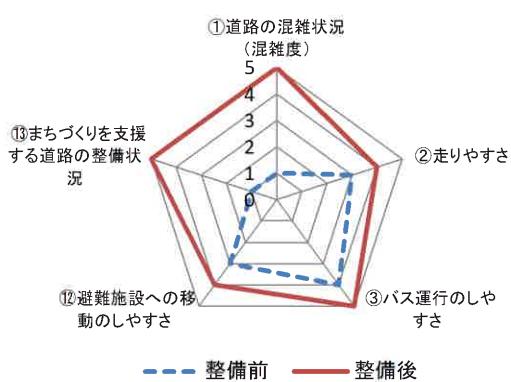
(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

| 指標 | 整備前 | ⇒ | 整備後 |
|--------------------|--|---|------------------|
| ①道路の混雑状況(混雑度) | 交通容量が増大し、交通の円滑性が向上 ランク1 1.77 | ⇒ | ランク5 0.89 |
| ②走りやすさ | 車線数増により交通の円滑性が向上 ランク3 車線数2 | ⇒ | ランク4 車線数4 |
| ③バス運行のしやすさ | 道路が広がりバス運行の円滑性が向上 ランク4 車道幅員9m | ⇒ | ランク5 車道幅員13m |
| ⑭避難施設への移動のしやすさ | 歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク3 歩道幅員3m | ⇒ | ランク4 歩道幅員3.5m |
| ⑯まちづくりを支援する道路の整備状況 | 近傍にある地区計画の市街地形成を支援 ランク1 整備なし | ⇒ | ランク5 整備あり |

【グラフ】



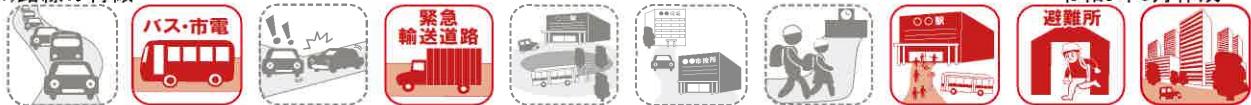
(7)備考

上記の他に、④災害時の輸送のしやすさ ⑪駅等への移動のしやすさ ⑭防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

篠路駅東通

令和3年3月作成

(1)路線の特徴



(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさの向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・交通結節点へのアクセス向上
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・篠路駅周辺地区の市街地整備の促進

(3)事業概要

| | |
|-----------|------------------|
| 路線名 | 篠路駅東通 |
| 事業区間 | 篠路3条7丁目～上篠路ゆうあい通 |
| 事業延長 | 80m |
| うち、事業着手区間 | - |
| うち、事業着手延長 | - |

現在の道路の状況

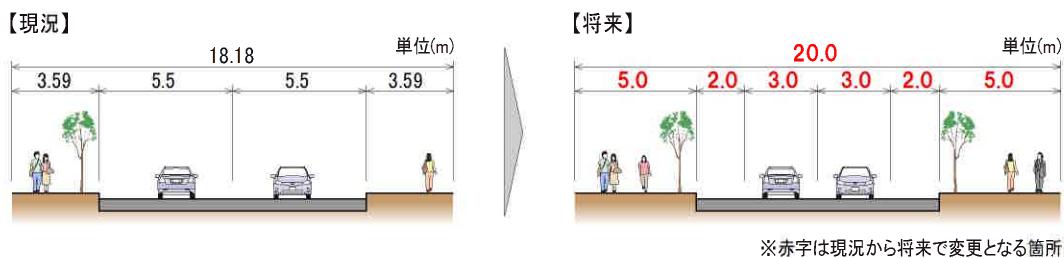
事業区間(整備前)



(4)位置図



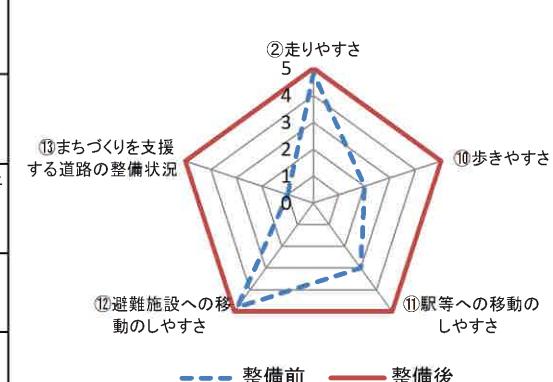
(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

| 指標 | 整備前 | → | 整備後 |
|--------------------|---|---|----------------|
| ②走りやすさ | 路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク5 路肩幅員2m | ⇒ | ランク5 路肩幅員2m |
| ⑩歩きやすさ | 歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク2 歩道幅員3.59m | ⇒ | ランク5 歩道幅員5m |
| ⑪駅等への移動のしやすさ | 駅にアクセスする歩道が広くなり駅利用時の利便性が向上 ランク3 歩道幅員3.59m | ⇒ | ランク5 歩道幅員5m |
| ⑫避難施設への移動のしやすさ | 歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク5 歩道幅員3.59m | ⇒ | ランク5 歩道幅員5m |
| ⑬まちづくりを支援する道路の整備状況 | 近傍にある地区計画の市街地形成を支援 ランク1 整備なし | ⇒ | ランク5 整備あり |

【グラフ】

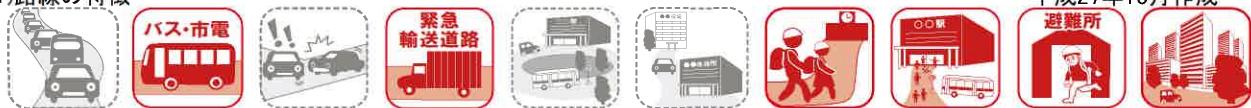


(7)備考

| |
|--|
| |
|--|

南1条通

(1)路線の特徴



平成27年10月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩道の歩きやすさの向上
- ・路面電車の利便性・定時性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・交通結節点へのアクセス性向上
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・地域景観、地域防災力の向上

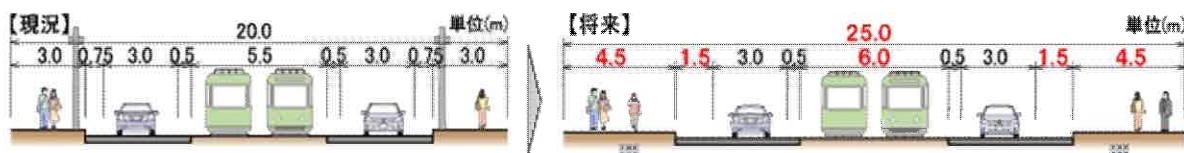
(3)事業概要

| 路線名 | 南1条通 |
|-----------|---|
| 事業区間 | 札幌駅前通～福住・桑園通 |
| 事業延長 | 1410m |
| うち、事業着手区間 | 札幌駅前通～西7丁目通 |
| うち、事業着手延長 | 360m |
| 現在の道路の状況 | <p>路肩が狭く堆雪スペース確保が困難</p>  <p>歩道が狭くすれ違いが困難</p>  |

(4)位置図

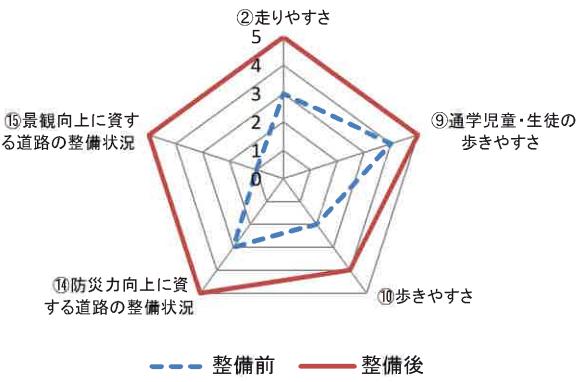


(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



※赤字は現況から将来で変更となる箇所

(6)整備効果

| 指標 | 整備前 | → | 整備後 | 【グラフ】 |
|-------------------|---|---|------------------|---|
| ②走りやすさ | 路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク3 路肩幅員1.25m | ⇒ | ランク5 路肩幅員2m |  <p>②走りやすさ ⑨通学児童・生徒の歩きやすさ ⑯景観向上に資する道路の整備状況 ⑭防災力向上に資する道路の整備状況 ⑩歩きやすさ</p> <p>--- 整備前 — 整備後</p> |
| ⑨通学児童・生徒の歩きやすさ | 通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク4 歩道幅員3m | ⇒ | ランク5 歩道幅員4.5m | |
| ⑩歩きやすさ | 歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク2 歩道幅員3m | ⇒ | ランク4 歩道幅員4.5m | |
| ⑭防災力向上に資する道路の整備状況 | 電線地中化により道路の防災力が向上 ランク3 道路幅員15m超 | ⇒ | ランク5 電線共同溝整備 | |
| ⑯景観向上に資する道路の整備状況 | 道路の整備により、沿道の景観が向上 ランク1 電線地中化なし | ⇒ | ランク5 電線地中化あり | |

(7)備考

上記の他に、⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況 ⑪駅等への移動のしやすさ ⑫避難施設への移動のしやすさ の面で整備効果があると考えられます。

西7丁目通

(1)路線の特徴



平成31年3月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・路面電車の利便性・定時性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・交通結節点へのアクセス性向上
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・地域景観、地域防災力の向上

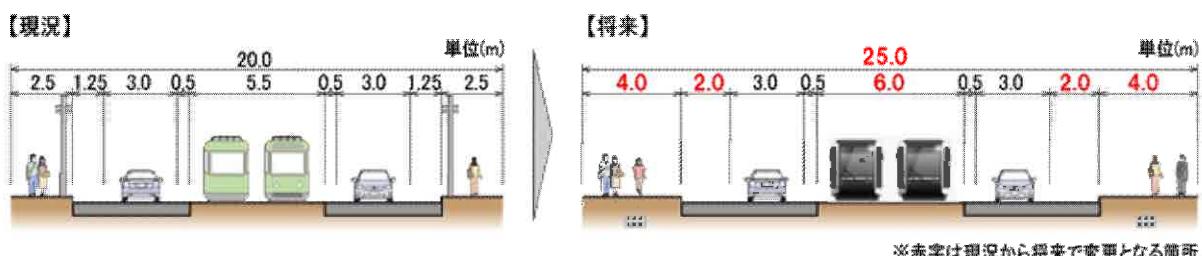
(3)事業概要

| | |
|-----------|------------|
| 路線名 | 西7丁目通 |
| 事業区間 | 月寒通～環状通 |
| 事業延長 | 2270m |
| うち、事業着手区間 | 月寒通～米里・行啓通 |
| うち、事業着手延長 | 1510m |
| 現在の道路の状況 | |
| 事業区間(整備前) | |
| | |

(4)位置図



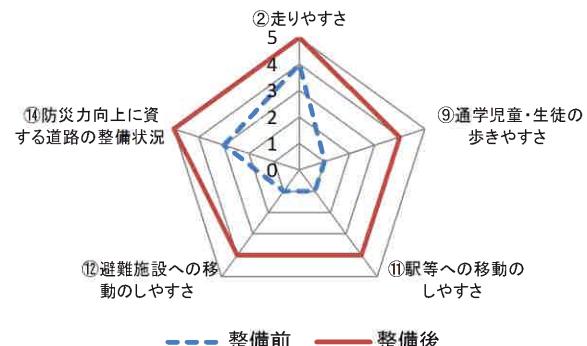
(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

| 指標 | 整備前 | → | 整備後 |
|-------------------|--|---|------------------|
| ②走りやすさ | 路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク4 路肩幅員1.75m | ⇒ | ランク5 路肩幅員2.5m |
| ⑨通学児童・生徒の歩きやすさ | 通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク1 歩道幅員2.5m | ⇒ | ランク4 歩道幅員4m |
| ⑪駅等への移動のしやすさ | 駅にアクセスする歩道が広くなり駅利用時の利便性が向上 ランク1 歩道幅員2.5m | ⇒ | ランク4 歩道幅員4m |
| ⑫避難施設への移動のしやすさ | 歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク1 歩道幅員2.5m | ⇒ | ランク4 歩道幅員4m |
| ⑭防災力向上に資する道路の整備状況 | 電線地中化により道路の防災力が向上 ランク3 道路幅員15m超 | ⇒ | ランク5 電線共同溝整備 |

【グラフ】



(7)備考

上記の他に、⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況 ⑩歩きやすさ ⑯景観向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

福住・桑園通

(1)路線の特徴



平成31年3月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・路面電車の利便性・定時性向上
- ・事故危険性の低減
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・交通結節点へのアクセス性向上
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・地域景観、地域防災力の向上

(3)事業概要

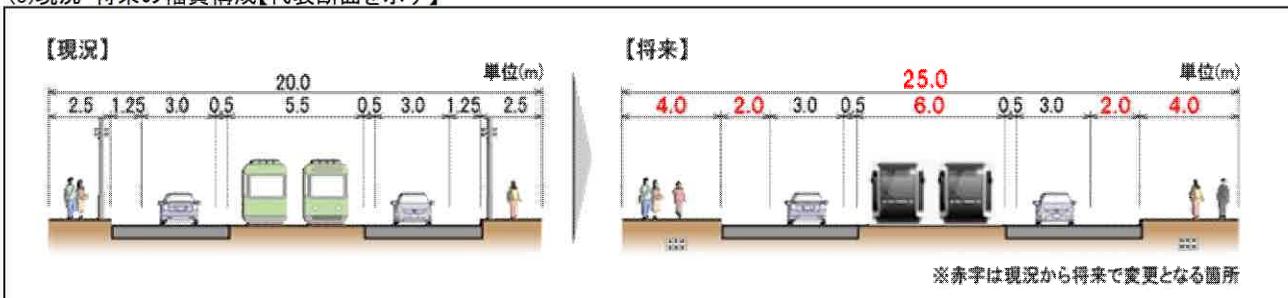
| 路線名 | 福住・桑園通 |
|-----------|-------------|
| 事業区間 | 南1条通～環状通 |
| 事業延長 | 2550m |
| うち、事業着手区間 | 南1条通～米里・行啓通 |
| うち、事業着手延長 | 1790m |
| 現在の道路の状況 | |



(4)位置図



(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

| 指標 | 整備前 | → | 整備後 | 【グラフ】 |
|-------------------|--|---|------------------|-------------------|
| ②走りやすさ | 路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク4 路肩幅員1.75m | ⇒ | ランク5 路肩幅員2.5m | ④防災力向上に資する道路の整備状況 |
| ⑨通学児童・生徒の歩きやすさ | 通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク3 歩道幅員2.5m | ⇒ | ランク5 歩道幅員4m | ⑨通学児童・生徒の歩きやすさ |
| ⑪駅等への移動のしやすさ | 駅にアクセスする歩道が広くなり駅利用時の利便性が向上 ランク1 歩道幅員2.5m | ⇒ | ランク4 歩道幅員4m | ⑫避難施設への移動のしやすさ |
| ⑫避難施設への移動のしやすさ | 歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク1 歩道幅員2.5m | ⇒ | ランク4 歩道幅員4m | ⑪駅等への移動のしやすさ |
| ⑭防災力向上に資する道路の整備状況 | 電線地中化により道路の防災力が向上 ランク3 道路幅員15m超 | ⇒ | ランク5 電線共同溝整備 | ----- 整備前 ——— 整備後 |

(7)備考

上記の他に、⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況 ⑩歩きやすさ ⑯景観向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

米里・行啓通

(1)路線の特徴



平成29年4月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩道の歩きやすさの向上
- ・公共交通機関(バス)の利便性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・地域景観、地域防災力の向上
- ・右折レーン設置による混雑緩和

(3)事業概要

| | |
|-----------|--------------|
| 路線名 | 米里・行啓通 |
| 事業区間 | 西20丁目通～西7丁目通 |
| 事業延長 | 1650m |
| うち、事業着手区間 | 石山通～福住・桑園通 |
| うち、事業着手延長 | 570m |

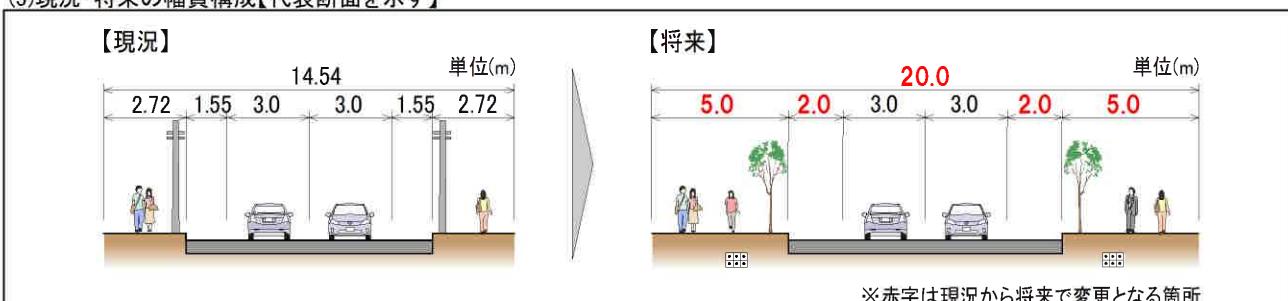
現在の道路の状況



(4)位置図



(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

| 指標 | 整備前 | → | 整備後 | 【グラフ】 |
|-------------------|---|---|-----------------|-------------------|
| ②走りやすさ | 路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク4 路肩幅員1.5m | ⇒ | ランク5 路肩幅員2m | ④防災力向上に資する道路の整備状況 |
| ⑨通学児童・生徒の歩きやすさ | 通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク2 歩道幅員2.72m | ⇒ | ランク5 歩道幅員5m | ⑨通学児童・生徒の歩きやすさ |
| ⑩歩きやすさ | 歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員2.72m | ⇒ | ランク5 歩道幅員5m | ⑫避難施設への移動のしやすさ |
| ⑫避難施設への移動のしやすさ | 歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク3 歩道幅員2.72m | ⇒ | ランク5 歩道幅員5m | ⑪歩きやすさ |
| ⑭防災力向上に資する道路の整備状況 | 電線地中化により道路の防災力が向上 ランク1 道路幅員15m以下 | ⇒ | 電線共同溝整備 ランク5 | ● 整備前 ■ 整備後 |

(7)備考

上記の他に、①道路の混雑状況(混雑度) ③バス運行のしやすさ ④災害時の輸送のしやすさ ⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況 ⑪駅等への移動のしやすさ ⑯景観向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

新琴似第5横通

(1)路線の特徴



平成27年10月作成

(2)事業目的

- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・札幌市と石狩市を結ぶ道路ネットワークの形成、連携強化

(3)事業概要

| | |
|-----------|------------|
| 路線名 | 新琴似第5横通 |
| 事業区間 | 屯田4番通～石狩市界 |
| 事業延長 | 320m |
| うち、事業着手区間 | - |
| うち、事業着手延長 | - |

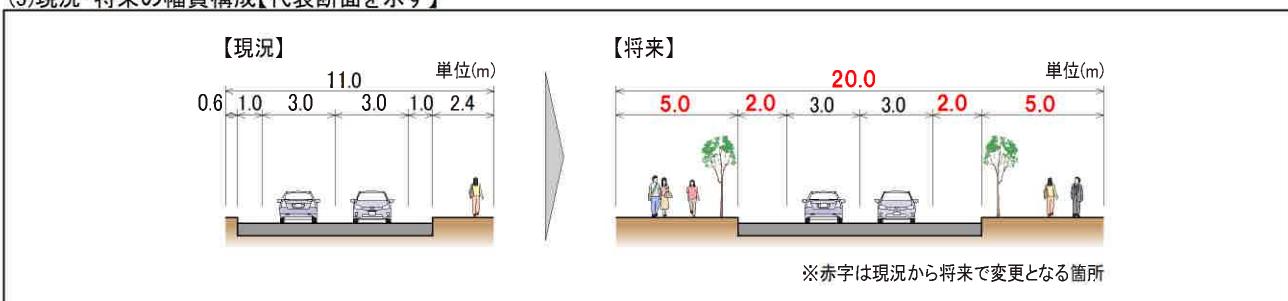
現在の道路の状況



(4)位置図



(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

| 指標 | 整備前 | ⇒ | 整備後 | 【グラフ】 |
|-------------------------------|---|---|----------------|--|
| ②走りやすさ | 路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク3 路肩幅員1m | ⇒ | ランク5 路肩幅員2m | ②走りやすさ ⑦他市への移動のしやすさ ⑬まちづくりを支援する道路の整備状況 |
| ⑦他市への移動のしやすさ | 道路の整備により、他市との連絡が強化 ランク1 整備なし | ⇒ | ランク5 整備あり | ⑦他市への移動のしやすさ |
| ⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況 | 道路整備により都市の骨格となる幹線道路が形性または連絡強化 ランク1 整備なし | ⇒ | ランク5 整備あり | ⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況 |
| ⑩歩きやすさ | 歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員2.4m | ⇒ | ランク5 歩道幅員5m | ⑩歩きやすさ |
| ⑬まちづくりを支援する道路の整備状況 | 道路の整備により、周辺市街地形成を支援 ランク1 整備なし | ⇒ | ランク5 整備あり | ⑬まちづくりを支援する道路の整備状況 --- 整備前 --- 整備後 |

(7)備考

上記の他に、④災害時の輸送のしやすさ ⑯防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

屯田・紅葉山通

(1)路線の特徴



平成27年10月作成

(2)事業目的

- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・札幌市と石狩市を結ぶ道路ネットワークの形成、連携強化

(3)事業概要

| | |
|-----------|--------------|
| 路線名 | 屯田・紅葉山通 |
| 事業区間 | 防風林南通～石狩市界 |
| 事業延長 | 160m |
| うち、事業着手区間 | 防風林南通～屯田・茨戸通 |
| うち、事業着手延長 | 100m |
| 現在の道路の状況 | |

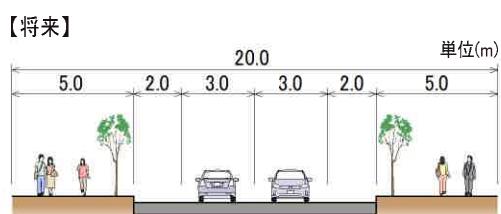


(4)位置図



(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】

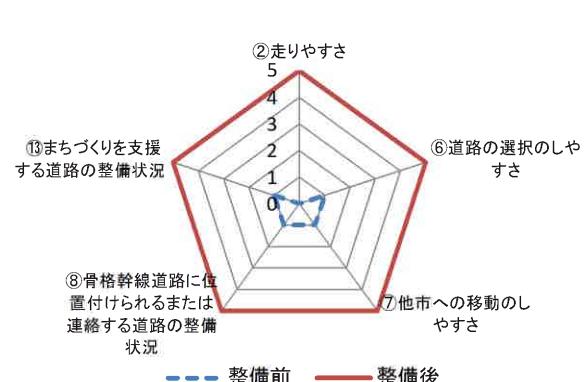
現道なし



(6)整備効果

| 指標 | 整備前 | ⇒ | 整備後 |
|-------------------------------|-------------------------------|--------------|----------------|
| ②走りやすさ | 路肩が確保され交通の円滑性が向上 | - | ランク5 路肩幅員2m |
| ⑥道路の選択のしやすさ | 道路の整備により、選択可能な道路が増加 | ランク1 整備なし | ランク5 整備あり |
| ⑦他市への移動のしやすさ | 道路の整備により、他市との連絡が強化 | ランク1 整備なし | ランク5 整備あり |
| ⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況 | 道路整備により都市の骨格となる幹線道路が形性または連絡強化 | ランク1 整備なし | ランク5 整備あり |
| ⑬まちづくりを支援する道路の整備状況 | 道路の整備により、周辺市街地形成を支援 | ランク1 整備なし | ランク5 整備あり |

【グラフ】

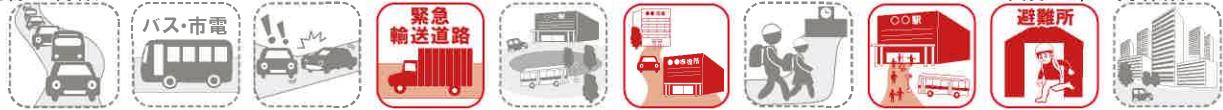


(7)備考

上記の他に、④災害時の輸送のしやすさ ⑯防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

大野地第1中通

(1)路線の特徴



平成27年10月作成

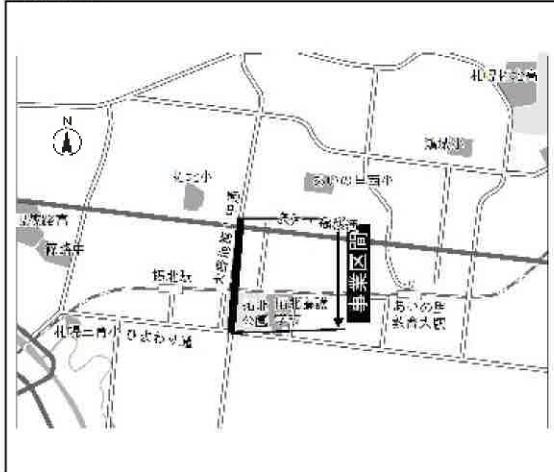
(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・道路ネットワークの構築
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・地域間の連携強化
- ・交通結節点へのアクセス性向上
- ・避難所へのアクセス性向上

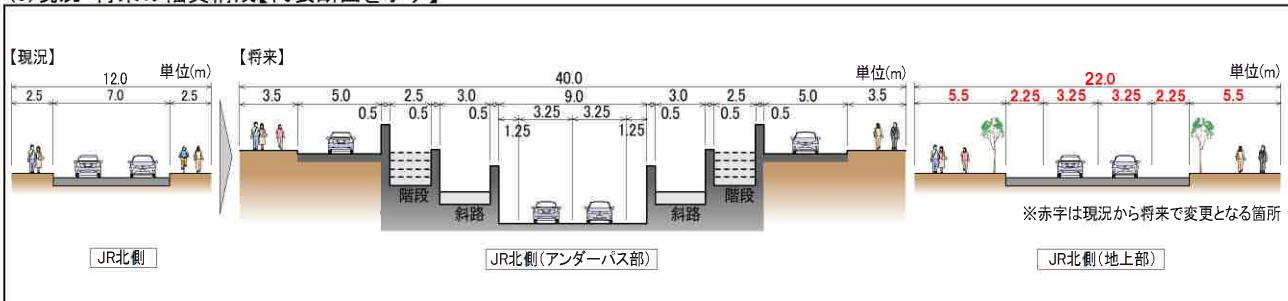
(3)事業概要

| | |
|---------------|--------------|
| 路線名 | 大野地第1中通 |
| 事業区間 | ひまわり通～茨戸・福移通 |
| 事業延長 | 630m |
| うち、事業着手区間 | - |
| うち、事業着手延長 | - |
| 現在の道路の状況 | |
| 事業区間(整備前JR南側) | |
| 事業区間(整備前JR北側) | |

(4)位置図



(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

| 指標 | 整備前 | → | 整備後 | 【グラフ】 |
|--------------------|--|---|-------------------|-------|
| ②走りやすさ | 路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク2 路肩幅員0.5m | ⇒ | ランク5 路肩幅員2.25m | |
| ⑥道路の選択のしやすさ | 道路の整備により、選択可能な道路が増加 ランク1 整備なし | ⇒ | ランク5 整備あり | |
| ⑩歩きやすさ | 歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員2.5m | ⇒ | ランク5 歩道幅員5.5m | |
| ⑪駅等への移動のしやすさ | 駅にアクセスする歩道が広くなり駅利用時の利便性が向上 ランク1 歩道幅員2.5m | ⇒ | ランク5 歩道幅員5.5m | |
| ⑬まちづくりを支援する道路の整備状況 | 道路の整備により、周辺市街地形成を支援 ランク1 整備なし | ⇒ | ランク5 整備あり | |

(7)備考

上記の他に、④災害時の輸送のしやすさ⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況 ⑭防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

石山・藤野通

(1)路線の特徴



令和4年3月作成

(2)事業目的

- 自動車交通の円滑性向上
- 歩行者の歩きやすさ向上
- 道路ネットワークの構築
- 地域間の連携強化
- 道路整備による石山・藤野・簾舞地区地域交通計画の推進
- 避難所へのアクセス性向上

(3)事業概要

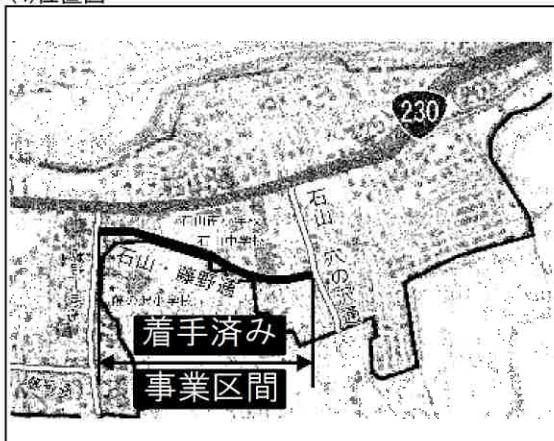
| | |
|-----------|---------------|
| 路線名 | 石山・藤野通 |
| 事業区間 | 藤野1号通～石山・穴の沢通 |
| 事業延長 | 860m |
| うち、事業着手区間 | 藤野1号通～石山・穴の沢通 |
| うち、事業着手延長 | 860m |

現在の道路の状況

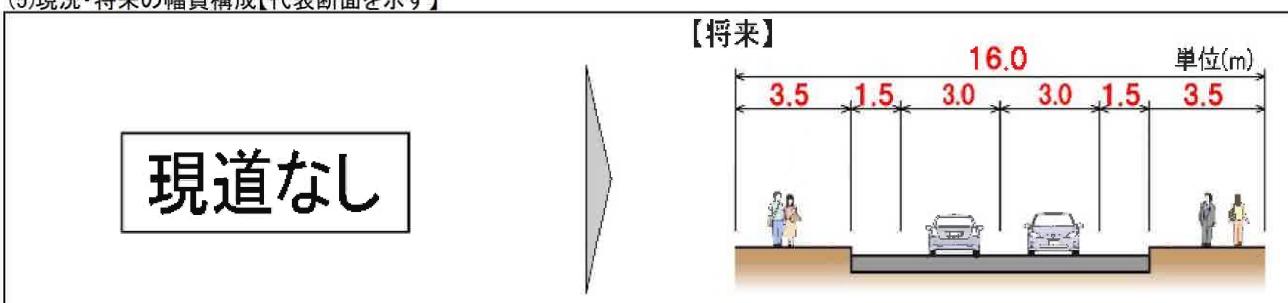
事業区間(整備前)



(4)位置図



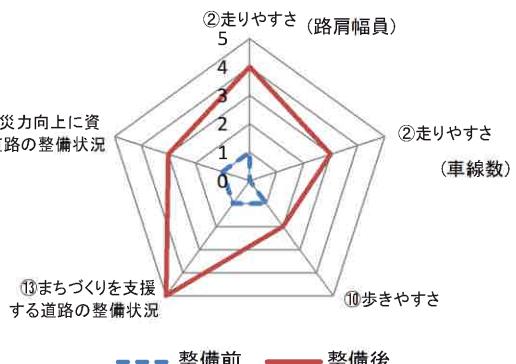
(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

| 指標 | 整備前 | → | 整備後 |
|--------------------|--|---|------------------|
| ②走りやすさ | 路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク1 路肩幅員0m | ⇒ | ランク4 路肩幅員1.5m |
| ②走りやすさ | 車線数増により交通の円滑性が向上 － 車線数0 | ⇒ | ランク3 車線数2 |
| ⑩歩きやすさ | 歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員0m | ⇒ | ランク2 歩道幅員3.5m |
| ⑬まちづくりを支援する道路の整備状況 | 近傍にある地区計画の市街地形成を支援 ランク1 整備なし | ⇒ | ランク5 整備あり |
| ⑭防災力向上に資する道路の整備状況 | 道路幅員増により道路の防災力が向上 ランク1 道路幅員15m以下 | ⇒ | ランク3 道路幅員15m超 |

【グラフ】



(7)備考

| |
|--|
| |
|--|

屯田・茨戸通

(1)路線の特徴



平成27年10月作成

(2)事業目的

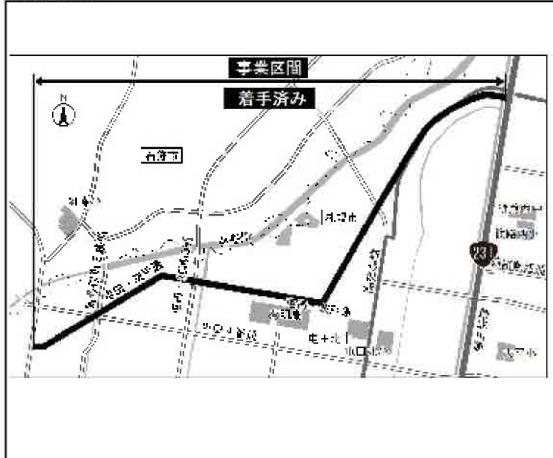
- ・自動車交通の円滑性向上
- ・道路ネットワークの構築
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・他都市との連携強化
- ・札幌都市圏の骨格幹線道路網の形成
- ・避難所へのアクセス性向上

(3)事業概要

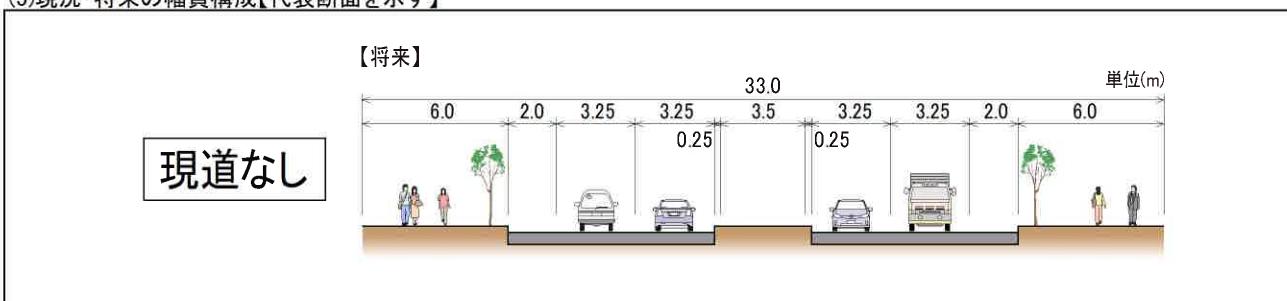
| | |
|-----------|----------|
| 路線名 | 屯田・茨戸通 |
| 事業区間 | 花川通～創成川通 |
| 事業延長 | 4450m |
| うち、事業着手区間 | 花川通～創成川通 |
| うち、事業着手延長 | 4450m |
| 現在の道路の状況 | |



(4)位置図



(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

| 指標 | 整備前 | → | 整備後 | 【グラフ】 |
|-------------------------------|-------------------------------|------|---------|-------------------------------|
| ②走りやすさ | 路肩が確保され交通の円滑性が向上 | - | ランク5 | |
| ④災害時の輸送のしやすさ | 災害時に緊急輸送路として活用可能 | ランク1 | ランク5 | ③まちづくりを支援する道路の整備状況 |
| ⑥道路の選択のしやすさ | 車道幅員0m | ⇒ | 車道幅員21m | ④災害時の輸送のしやすさ |
| ⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況 | 道路整備により都市の骨格となる幹線道路が形性または連絡強化 | ランク1 | ランク5 | ⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況 |
| ⑬まちづくりを支援する道路の整備状況 | 整備なし | ⇒ | 整備あり | 整備前 整備後 |

(7)備考

上記の他に、⑩防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

山本通

(1)路線の特徴



平成27年10月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・交通結節点へのアクセス性向上
- ・避難所へのアクセス性向上

(3)事業概要

| 路線名 | 山本通 |
|-----------|---------|
| 事業区間 | 三里川～厚別通 |
| 事業延長 | 1620m |
| うち、事業着手区間 | 三里川～厚別通 |
| うち、事業着手延長 | 1620m |

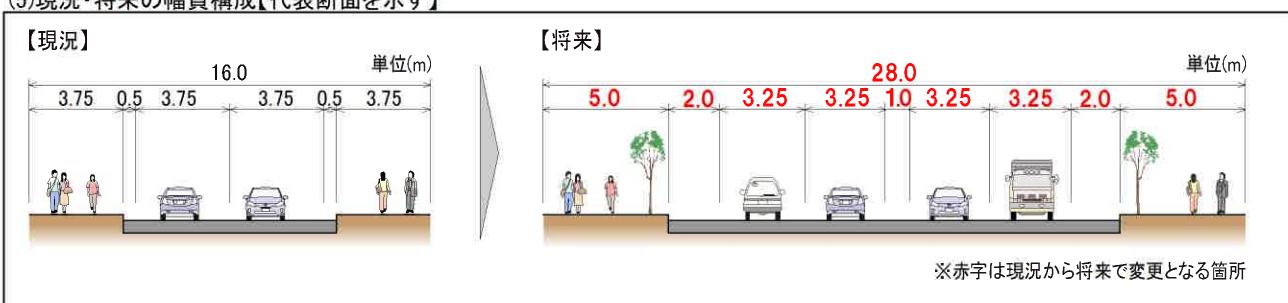
現在の道路の状況



(4)位置図



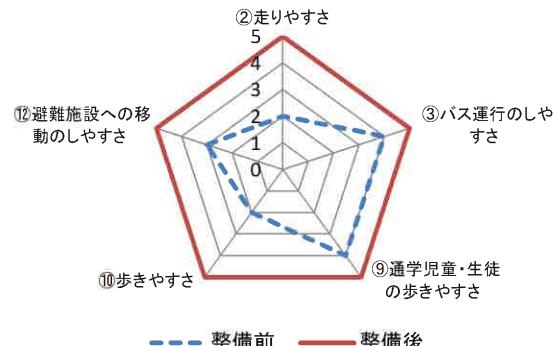
(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

| 指標 | 整備前 | → | 整備後 |
|----------------|---|---|-----------------|
| ②走りやすさ | 路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク2 路肩幅員0.5m | ⇒ | ランク5 路肩幅員2m |
| ③バス運行のしやすさ | 道路が広がりバス運行の円滑性が向上 ランク4 車道幅員8.5m | ⇒ | ランク5 車道幅員18m |
| ⑨通学児童・生徒の歩きやすさ | 通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク4 歩道幅員3.75m | ⇒ | ランク5 歩道幅員5m |
| ⑩歩きやすさ | 歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク2 歩道幅員3.75m | ⇒ | ランク5 歩道幅員5m |
| ⑫避難施設への移動のしやすさ | 歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク3 歩道幅員3.75m | ⇒ | ランク5 歩道幅員5m |

【グラフ】

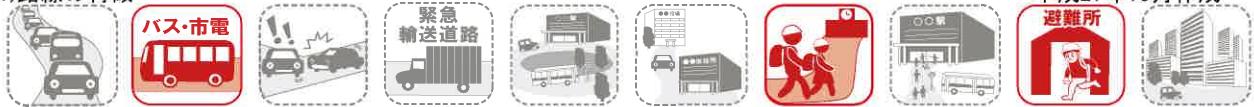


(7)備考

上記の他に、④災害時の輸送のしやすさ⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

北郷公園南通

(1)路線の特徴



平成27年10月作成

避難所

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・避難所へのアクセス性向上

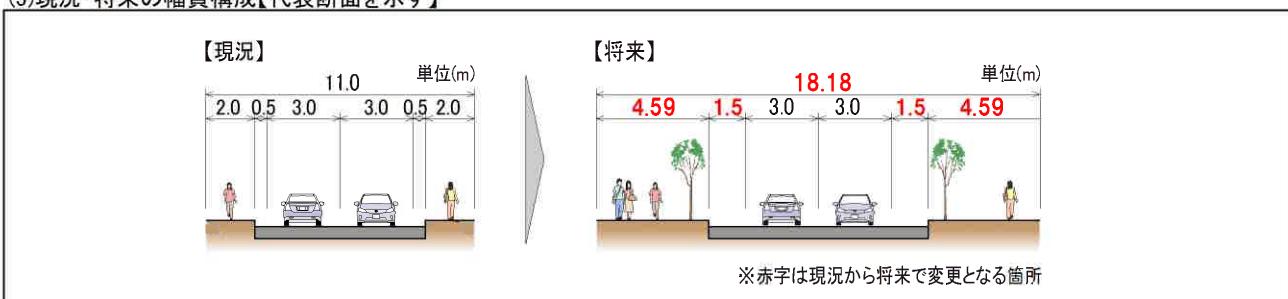
(3)事業概要

| 路線名 | 北郷公園南通 |
|-----------|--|
| 事業区間 | 月寒川西通～8線幹道線 |
| 事業延長 | 770m |
| うち、事業着手区間 | 月寒川西通～8線幹道線 |
| うち、事業着手延長 | 770m |
| 現在の道路の状況 | <p>冬期のバスと大型車のすれ違い状況</p>  <p>狭隘な歩道(冬期)</p>  |

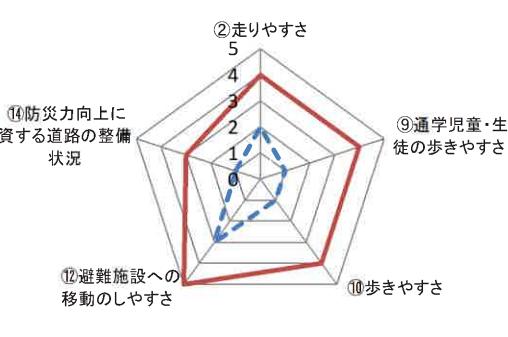
(4)位置図



(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

| 指標 | 整備前 | → | 整備後 | 【グラフ】 |
|-------------------|--|---|-------------------|---|
| ②走りやすさ | 路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク2 路肩幅員0.5m | ⇒ | ランク4 路肩幅員1.5m |  <p>④防災力向上に資する道路の整備状況</p> |
| ⑨通学児童・生徒の歩きやすさ | 通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク1 歩道幅員2m | ⇒ | ランク4 歩道幅員4.59m | |
| ⑩歩きやすさ | 歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員2m | ⇒ | ランク4 歩道幅員4.59m | |
| ⑫避難施設への移動のしやすさ | 歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク3 歩道幅員2m | ⇒ | ランク5 歩道幅員4.59m | |
| ⑭防災力向上に資する道路の整備状況 | 道路幅員増により道路の防災力が向上 ランク1 道路幅員15m以下 | ⇒ | ランク3 道路幅員15m超 | |

(7)備考

上記の他に、③バス運行のしやすさ ④災害時の輸送のしやすさ の面で整備効果があると考えられます。

厚別川左岸通

(1)路線の特徴



令和3年3月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・道路ネットワークの構築

(3)事業概要

| | |
|-----------|---------|
| 路線名 | 厚別川左岸通 |
| 事業区間 | 北野通～南郷通 |
| 事業延長 | 2200m |
| うち、事業着手区間 | 東北通～南郷通 |
| うち、事業着手延長 | 620m |

現在の道路の状況

事業区間(整備前)

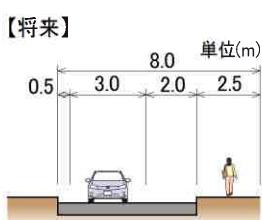


(4)位置図



(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】

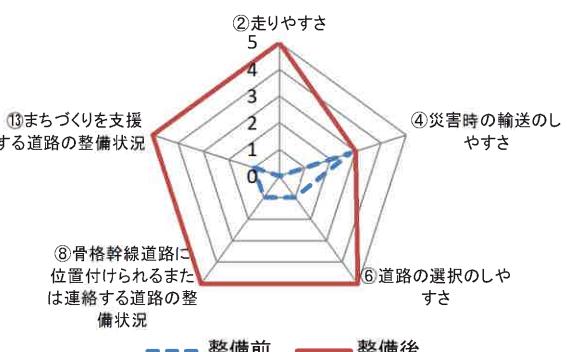
一部現道なし



(6)整備効果

| 指標 | 整備前 | ⇒ | 整備後 |
|-------------------------------|-------------------------------|----------------|------------------|
| ②走りやすさ | 路肩が確保され交通の円滑性が向上 | - | ランク5 路肩幅員2m |
| ④災害時の輸送のしやすさ | 災害時に緊急輸送路として活用可能 | ランク3 車道幅員0m | ランク3 車道幅員5.5m |
| ⑥道路の選択のしやすさ | 道路の整備により、選択可能な道路が増加 | ランク1 整備なし | ランク5 整備あり |
| ⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況 | 道路整備により都市の骨格となる幹線道路が形性または連絡強化 | ランク1 整備なし | ランク5 整備あり |
| ⑯まちづくりを支援する道路の整備状況 | 道路の整備により、周辺市街地形成を支援 | ランク1 整備なし | ランク5 整備あり |

【グラフ】



(7)備考

上記の他に、⑫避難施設への移動のしやすさ の面で整備効果があると考えられます。

西5丁目・樽川通

(1)路線の特徴



令和6年3月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・事故危険性の低減
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・交通結節点へのアクセス性向上
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・地域景観・地域防災力の向上

(3)事業概要

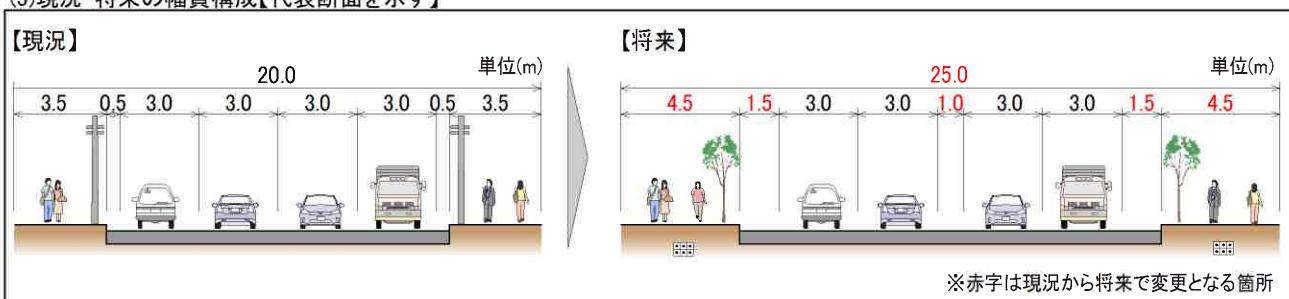
| 路線名 | 西5丁目・樽川通 |
|-----------|----------------------|
| 事業区間 | 北19条線～宮の森・北24条通、麻生地区 |
| 事業延長 | 1560m |
| うち、事業着手区間 | 北19条線～宮の森・北24条通、麻生地区 |
| うち、事業着手延長 | 1560m |
| 現在の道路の状況 | |



(4)位置図



(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

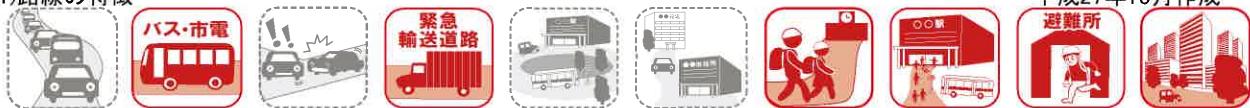
| 指標 | 整備前 | → | 整備後 | 【グラフ】 |
|------------------|--|---|------------------|--|
| ②走りやすさ | 路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク2 路肩幅員0.5m | ⇒ | ランク4 路肩幅員1.5m | ⑫景観向上に資する道路の整備状況 |
| ③バス運行のしやすさ | 道路が広がりバス運行の円滑性が向上 ランク4 車道幅員13m | ⇒ | ランク5 車道幅員16m | ⑬防災力向上に資する道路の整備状況 |
| ⑩歩きやすさ | 歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク2 歩道幅員3.5m | ⇒ | ランク4 歩道幅員4.5m | ⑭歩きやすさ |
| ⑯景観向上に資する道路の整備状況 | 電線地中化により道路の防災力が向上 ランク3 道路幅員15m超 | ⇒ | ランク5 電線共同溝整備 | ⑮走りやすさ |
| ⑰景観向上に資する道路の整備状況 | 道路の整備により、沿道の景観が向上 ランク1 電線地中化なし | ⇒ | ランク5 電線地中化あり | ⑯防災力向上に資する道路の整備状況 ⑯歩きやすさ --- 整備前 --- 整備後 |

(7)備考

上記の他に、⑯避難施設への移動のしやすさ の面で整備効果があると考えられます。

花畔札幌線

(1)路線の特徴



平成27年10月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・地域防災力の向上
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・交通結節点へのアクセス性向上
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・篠路駅周辺地区の市街地整備の促進

(3)事業概要

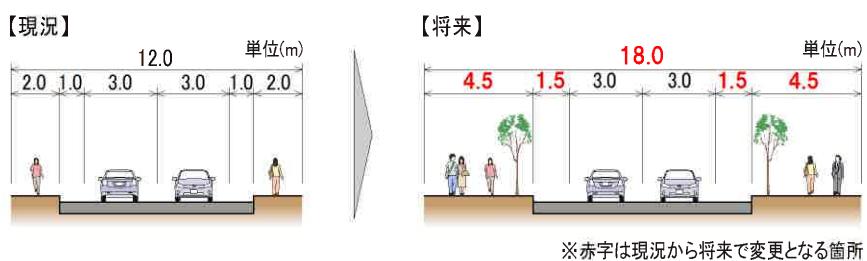
| 路線名 | 花畔札幌線 |
|-----------|-------------------|
| 事業区間 | 雁来篠路連絡線～篠路駅前団地本通線 |
| 事業延長 | 530m |
| うち、事業着手区間 | 雁来篠路連絡線～篠路駅前団地本通線 |
| うち、事業着手延長 | 530m |
| 現在の道路の状況 | |



(4)位置図



(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

| 指標 | 整備前 | ⇒ | 整備後 | 【グラフ】 | | | | | | | | | | |
|----------------|--|---|------------------|---|--------|---|--------|---|--------------|---|----------------|---|----------------|---|
| ②走りやすさ | 路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク3 路肩幅員1m | ⇒ | ランク4 路肩幅員1.5m | <table border="1"> <tr> <td>②走りやすさ</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>⑩歩きやすさ</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>⑪駅等への移動のしやすさ</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>⑫避難施設への移動のしやすさ</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>⑨通学児童・生徒の歩きやすさ</td> <td>4</td> </tr> </table> | ②走りやすさ | 5 | ⑩歩きやすさ | 4 | ⑪駅等への移動のしやすさ | 2 | ⑫避難施設への移動のしやすさ | 3 | ⑨通学児童・生徒の歩きやすさ | 4 |
| ②走りやすさ | 5 | | | | | | | | | | | | | |
| ⑩歩きやすさ | 4 | | | | | | | | | | | | | |
| ⑪駅等への移動のしやすさ | 2 | | | | | | | | | | | | | |
| ⑫避難施設への移動のしやすさ | 3 | | | | | | | | | | | | | |
| ⑨通学児童・生徒の歩きやすさ | 4 | | | | | | | | | | | | | |
| ⑩歩きやすさ | 歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員2m | ⇒ | ランク4 歩道幅員4.5m | | | | | | | | | | | |
| ⑨通学児童・生徒の歩きやすさ | 通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク1 歩道幅員2m | ⇒ | ランク4 歩道幅員4.5m | | | | | | | | | | | |
| ⑪駅等への移動のしやすさ | 駅にアクセスする歩道が広くなり駅利用時の利便性が向上 ランク1 歩道幅員2m | ⇒ | ランク4 歩道幅員4.5m | | | | | | | | | | | |
| ⑫避難施設への移動のしやすさ | 歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク3 歩道幅員2m | ⇒ | ランク5 歩道幅員4.5m | | | | | | | | | | | |

(7)備考

上記の他に、⑭防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

石山・穴の沢通

(1)路線の特徴



(2)事業目的

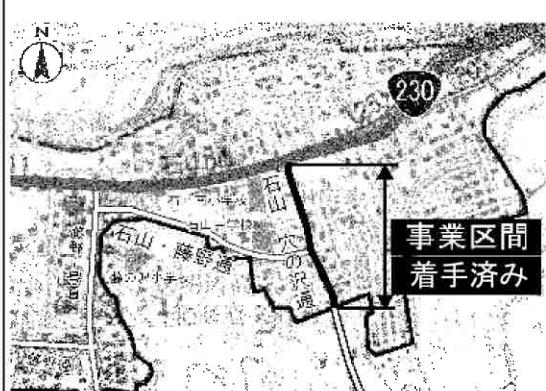
- ・自動車交通の円滑性向上
 - ・歩行者の歩きやすさ向上
 - ・バス交通の利便性・定時性向上
 - ・地域間の連携強化
 - ・道路整備による石山・藤野・簾舞地区地域交通計画の推進
 - ・避難所へのアクセス性向上
 - ・児童・生徒の通学時安全性向上
 - ・災害時の緊急輸送路の確保

(3)事業概要

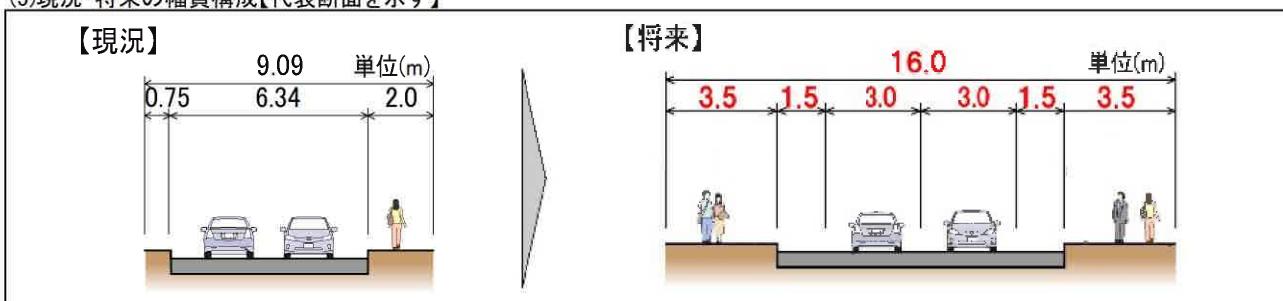
| | |
|-----------|------------|
| 路線名 | 石山・穴の沢通 |
| 事業区間 | 石山通～市街化区域界 |
| 事業延長 | 620m |
| うち、事業着手区間 | 石山通～市街化区域界 |
| うち、事業着手延長 | 620m |
| 現在の道路の状況 | |



(4)位置図

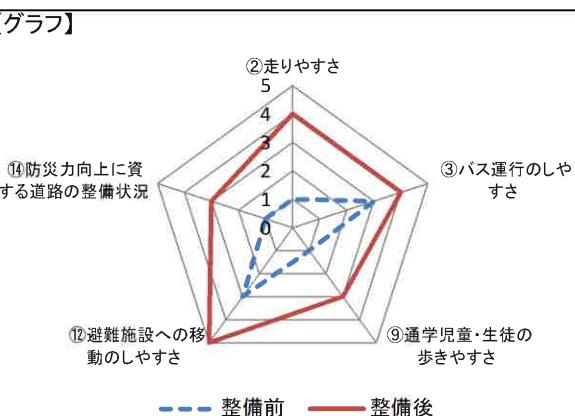


(5) 現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6) 整備効果

| 指標 | 整備前 | ⇒ | 整備後 |
|-------------------|--|---|------------------|
| ②走りやすさ | 路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク1 路肩幅員0.17m | ⇒ | ランク4 路肩幅員1.5m |
| ③バス運行のしやすさ | 道路が広がりバス運行の円滑性が向上 ランク3 車道幅員6.34m | ⇒ | ランク4 車道幅員9m |
| ⑨通学児童・生徒の歩きやすさ | 通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク1 歩道幅員1.375m | ⇒ | ランク3 歩道幅員3.5m |
| ⑫避難施設への移動のしやすさ | 歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク3 歩道幅員1.375m | ⇒ | ランク5 歩道幅員3.5m |
| ⑯防災力向上に資する道路の整備状況 | 道路幅員増により道路の防災力が向上 ランク1 道路幅員15m以下 | ⇒ | 道路幅員15m超 |



(7)備考

上記の他に、⑩歩きやすさの面で整備効果があると考えられます。

山本小野津幌川沿線

(1)路線の特徴



平成28年4月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・地域間の連携強化
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・公共施設へのアクセス性向上
- ・山本線の交通混雑解消

(3)事業概要

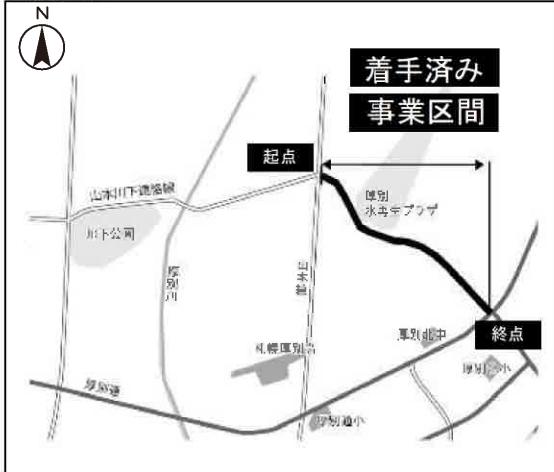
| | |
|-----------|--------------|
| 路線名 | 山本小野津幌川沿線 |
| 事業区間 | 山本線～道道大麻東雁来線 |
| 事業延長 | 1,500m |
| うち、事業着手区間 | 山本線～道道大麻東雁来線 |
| うち、事業着手延長 | 1,500m |

現在の道路の状況

事業区間(整備前)



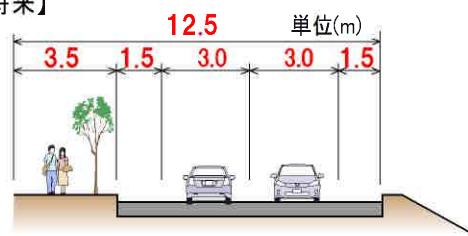
(4)位置図



(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】

現道なし

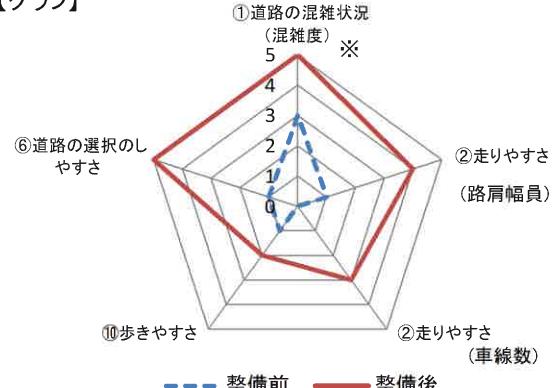
【将来】



(6)整備効果

| 指標 | 整備前 | ⇒ | 整備後 |
|----------------|--------------------------------------|---|------------------|
| ①道路の混雑状況(混雑度)※ | 交通容量が増大し、交通の円滑性が向上 ランク3 1.49 | ⇒ | ランク5 0.76 |
| ②走りやすさ | 路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク1 路肩幅員0m | ⇒ | ランク4 路肩幅員1.5m |
| ③走りやすさ | 車線数増により交通の円滑性が向上 - | ⇒ | ランク3 車線数2 |
| ⑩歩きやすさ | 歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員0m | ⇒ | ランク2 歩道幅員3.5m |
| ⑥道路の選択のしやすさ | 道路の整備により、選択可能な道路が増加 ランク1 整備なし | ⇒ | ランク5 整備あり |

【グラフ】



※山本線の混雑度について

(7)備考

上記の他に、⑪防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

雁来篠路連絡線及び豊畠通線

(1)路線の特徴



令和6年3月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・交差点の交通渋滞解消
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・周辺レクリエーション施設へのアクセス性向上

(3)事業概要

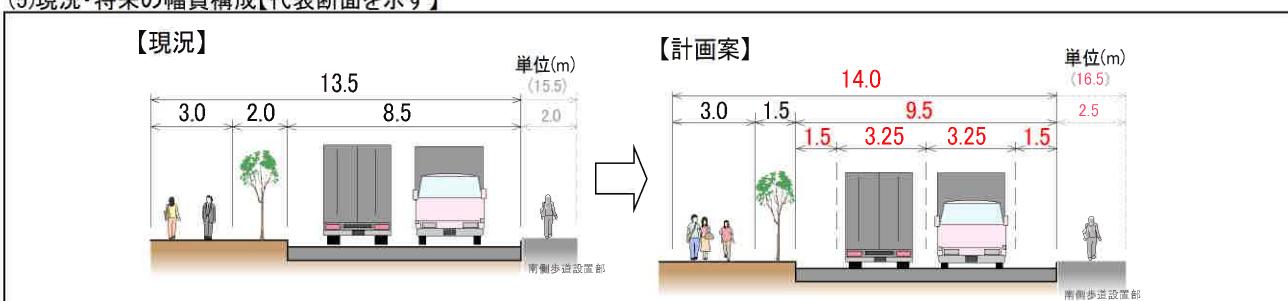
| 路線名 | 雁来篠路連絡線及び豊畠通線 |
|-----------|-----------------------|
| 事業区間 | 道道札幌当別線～東雁来第2区画整理34号線 |
| 事業延長 | 3,100m |
| うち、事業着手区間 | 道道札幌当別線～市道苗穂三角街道線 |
| うち、事業着手延長 | 1,700m |
| 現在の道路の状況 | |



(4)位置図



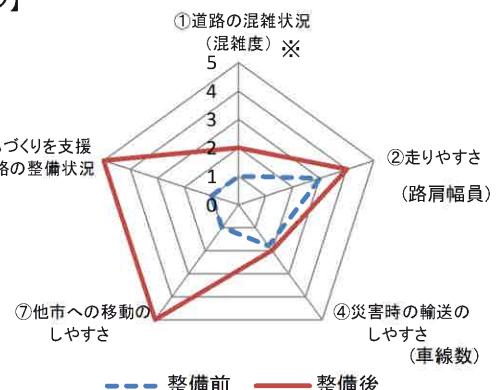
(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

| 指標 | 整備前 | ⇒ | 整備後 |
|--------------------|---------------------------------------|---|------------------|
| ①道路の混雑状況(混雑度) | 交通容量が増大し、交通の円滑性が向上 ランク1 2.01 | ⇒ | ランク2 1.68 |
| ②走りやすさ | 路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク3 路肩幅員1.25m | ⇒ | ランク4 路肩幅員1.5m |
| ④災害時の輸送のしやすさ | 災害時に緊急輸送路として活用可能 ランク2 車道幅員8.5m | ⇒ | ランク2 車道幅員9.5m |
| ⑦他市への移動のしやすさ | 道路の整備により、他市との連絡が強化 ランク1 整備なし | ⇒ | ランク5 整備あり |
| ⑯まちづくりを支援する道路の整備状況 | 近傍にある地区計画の市街地形成を支援 ランク1 整備なし | ⇒ | ランク5 整備あり |

【グラフ】



(7)備考

| |
|--|
| |
|--|

五輪通

(1)路線の特徴



令和7年3月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・右折レーン設置による混雑緩和
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・札幌都市圏の骨格幹線道路網の形成
- ・地域景観・地域防災力の向上

(3)事業概要

| | |
|-----------|---------|
| 路線名 | 五輪通 |
| 事業区間 | 石山通～平岸通 |
| 事業延長 | 1910m |
| うち、事業着手区間 | - |
| うち、事業着手延長 | - |

現在の道路の状況

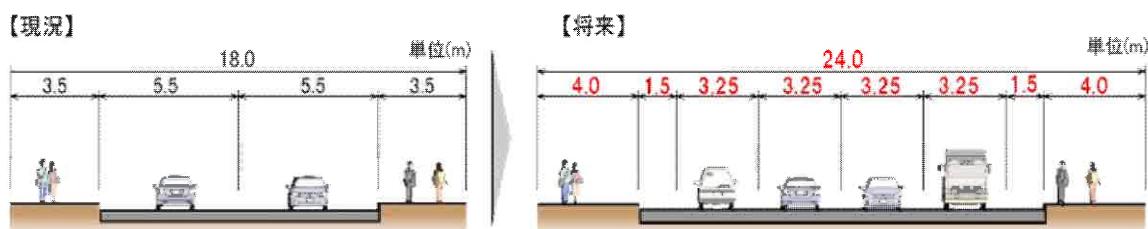
事業区間(整備前)



(4)位置図

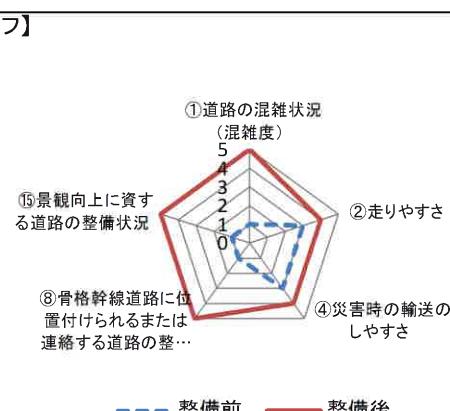


(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

| 指標 | 整備前 | ⇒ | 整備後 |
|-------------------------------|--|---|-----|
| ①道路の混雑状況(混雑度) | 交通容量が増大し、交通の円滑性が向上 ランク1 2.03 ⇒ ランク5 0.785 | | |
| ②走りやすさ | 車線数増により交通の円滑性が向上 ランク3 車線数2 ⇒ ランク4 車線数4 | | |
| ④災害時の輸送のしやすさ | 災害時に緊急輸送路として活用可能 ランク3 車道幅員11m ⇒ ランク4 車道幅員16m | | |
| ⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況 | 道路整備により都市の骨格となる幹線道路が形性または連絡強化 ランク1 整備なし ⇒ ランク5 整備あり | | |
| ⑯景観向上に資する道路の整備状況 | 道路の整備により、沿道の景観が向上 ランク1 電線地中化なし ⇒ ランク5 電線地中化あり | | |



(7)備考

| |
|--|
| |
|--|

清田通

(1)路線の特徴



令和3年3月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・道路ネットワークの構築
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・地域間の連携強化

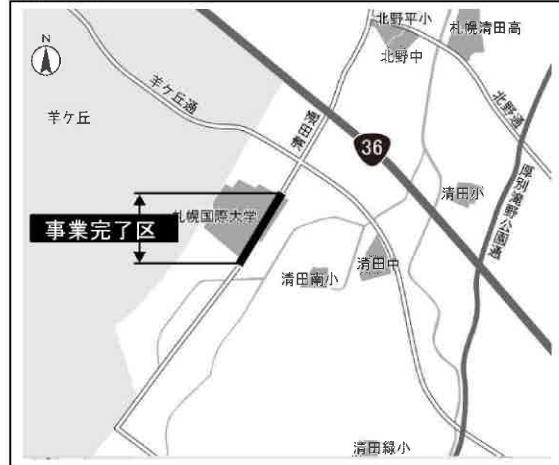
(3)事業概要

| | |
|-----------|---------------|
| 路線名 | 清田通 |
| 事業区間 | 清田77号線～清田86号線 |
| 事業延長 | 470m |
| うち、事業着手区間 | 清田77号線～清田86号線 |
| うち、事業着手延長 | 470m |

現在の道路の状況

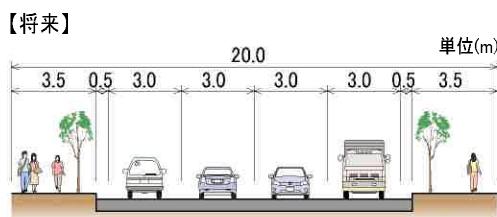


(4)位置図



(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】

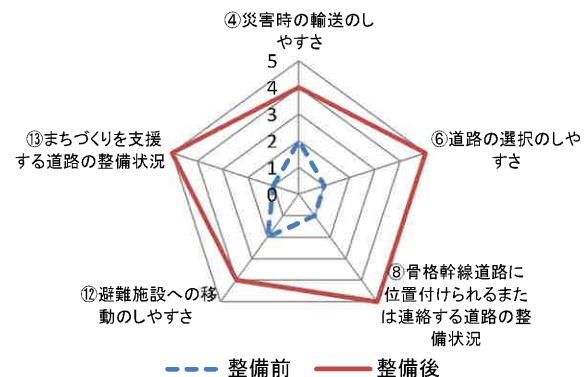
現道なし



(6)整備効果

| 指標 | 整備前 | ⇒ | 整備後 |
|-------------------------------|---|---|------------------|
| ④災害時の輸送のしやすさ | 災害時に緊急輸送路として活用可能 ランク2 車道幅員0m | ⇒ | ランク4 車道幅員13m |
| ⑥道路の選択のしやすさ | 道路の整備により、選択可能な道路が増加 ランク1 整備なし | ⇒ | ランク5 整備あり |
| ⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況 | 道路整備により都市の骨格となる幹線道路が形性または連絡強化 ランク1 整備なし | ⇒ | ランク5 整備あり |
| ⑫避難施設への移動のしやすさ | 歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク2 歩道幅員-m | ⇒ | ランク4 歩道幅員3.5m |
| ⑬まちづくりを支援する道路の整備状況 | 道路の整備により、周辺市街地形成を支援 ランク1 整備なし | ⇒ | ランク5 整備あり |

【グラフ】



(7)備考

上記の他に、⑯防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

北5条・手稻通

(1)路線の特徴



令和3年3月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・事故危険性の低減
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・地域景観・地域防災力の向上
- ・右折レーン設置による混雑緩和

(3)事業概要

| | |
|-----------|---------------|
| 路線名 | 北5条・手稻通 |
| 事業区間 | 桑園・発寒通～西20丁目通 |
| 事業延長 | 630m |
| うち、事業着手区間 | 桑園・発寒通～西20丁目通 |
| うち、事業着手延長 | 630m |

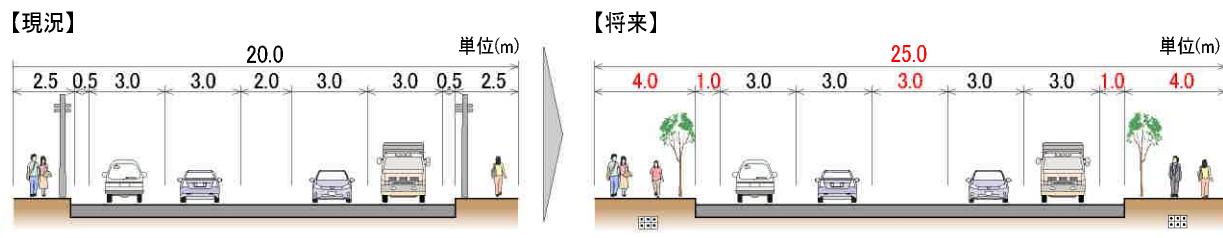
現在の道路の状況



(4)位置図



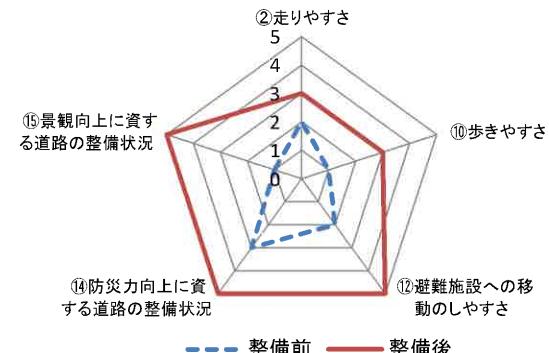
(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

| 指標 | 整備前 | ⇒ | 整備後 |
|-------------------|--|---|-----------------|
| ②走りやすさ | 路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク2 路肩幅員0.5m | ⇒ | ランク3 路肩幅員1m |
| ⑩歩きやすさ | 歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員2.5m | ⇒ | ランク3 歩道幅員4m |
| ⑫避難施設への移動のしやすさ | 歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク2 歩道幅員2.5m | ⇒ | ランク5 歩道幅員4m |
| ⑭防災力向上に資する道路の整備状況 | 電線地中化により道路の防災力が向上 ランク3 道路幅員15m超 | ⇒ | ランク5 電線共同溝整備 |
| ⑮景観向上に資する道路の整備状況 | 道路の整備により、沿道の景観が向上 ランク1 電線地中化なし | ⇒ | ランク5 電線地中化あり |

【グラフ】



(7)備考

| |
|--|
| |
|--|

篠路駅西通

(1)路線の特徴



令和4年3月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・交通結節点へのアクセス性向上
- ・地域間の連携強化
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・篠路駅周辺地区の市街地整備の促進

(3)事業概要

| | |
|-----------|------------------|
| 路線名 | 篠路駅西通 |
| 事業区間 | 篠路宅造2号線～東8丁目・篠路通 |
| 事業延長 | 200m |
| うち、事業着手区間 | 200m |
| うち、事業着手延長 | 200m |

現在の道路の状況

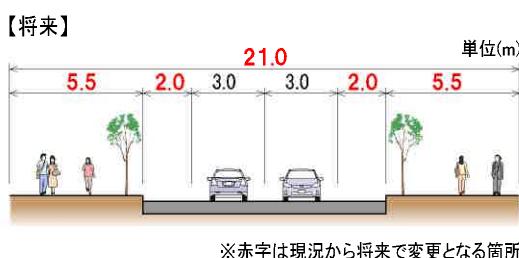


(4)位置図



(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】

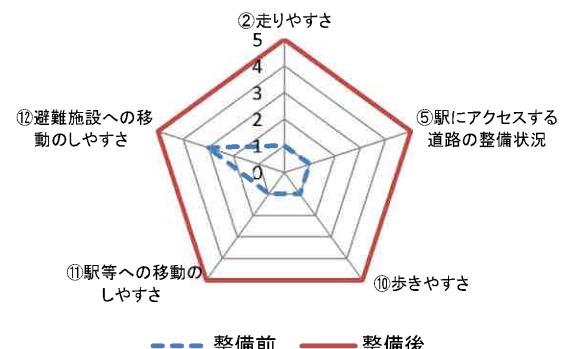
現道なし



(6)整備効果

| 指標 | 整備前 | ⇒ | 整備後 |
|------------------|--|---|------------------|
| ②走りやすさ | 路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク1 路肩幅員0m | ⇒ | ランク5 路肩幅員2m |
| ⑤駅にアクセスする道路の整備状況 | 駅への車でのアクセスが向上 ランク1 整備なし | ⇒ | ランク5 整備あり |
| ⑩歩きやすさ | 歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員0m | ⇒ | ランク5 歩道幅員5.5m |
| ⑪駅等への移動のしやすさ | 駅にアクセスする歩道が広くなり駅利用時の利便性が向上 ランク1 歩道幅員0m | ⇒ | ランク5 歩道幅員5.5m |
| ⑫避難施設への移動のしやすさ | 歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク3 歩道幅員0m | ⇒ | ランク5 歩道幅員5.5m |

【グラフ】



(7)備考

上記の他に、④災害時の輸送のしやすさ ⑬まちづくりを支援する道路の整備状況 ⑭防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

新琴似・屯田通

(1)路線の特徴



令和4年3月作成

(2)事業目的

- 自動車交通の円滑性向上
- 歩行者の歩きやすさ向上
- バス交通の利便性・定時性向上
- 災害時の緊急輸送路の確保
- 児童・生徒の通学時安全性向上
- 避難所へのアクセス性向上

(3)事業概要

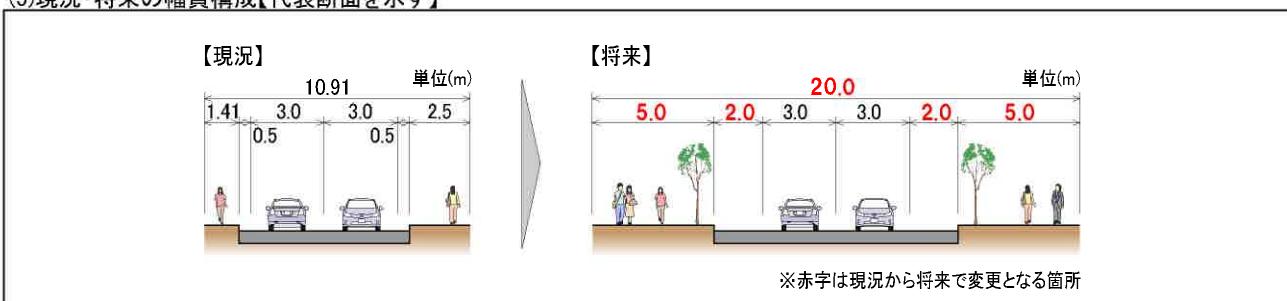
| 路線名 | 新琴似・屯田通 |
|-----------|----------------|
| 事業区間 | 西5丁目・樽川通～屯田4条線 |
| 事業延長 | 1220m |
| うち、事業着手区間 | 西5丁目・樽川通～屯田4条線 |
| うち、事業着手延長 | 1220m |
| 現在の道路の状況 | |



(4)位置図



(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

| 指標 | 整備前 | ⇒ | 整備後 | 【グラフ】 |
|----------------|---|---|-----------------|---|
| ②走りやすさ | 路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク2 路肩幅員0.5m | ⇒ | ランク5 路肩幅員2m | <p>A radar chart comparing five metrics: walking ease (②), bus operation ease (③), school child/student walking ease (⑨), walking ease (⑩), and evacuation center access ease (⑫). The chart shows a significant improvement in all areas from the pre-improvement state (dashed blue line) to the post-improvement state (solid red line).</p> |
| ③バス運行のしやすさ | 道路が広がりバス運行の円滑性が向上 ランク2 車道幅員7m | ⇒ | ランク4 車道幅員10m | |
| ⑨通学児童・生徒の歩きやすさ | 通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク1 歩道幅員1.41m | ⇒ | ランク5 歩道幅員5m | |
| ⑩歩きやすさ | 歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員1.41m | ⇒ | ランク5 歩道幅員5m | |
| ⑫避難施設への移動のしやすさ | 歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク1 歩道幅員1.41m | ⇒ | ランク5 歩道幅員5m | |

(7)備考

上記の他に、④災害時の輸送のしやすさ ⑭防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

宮の森・北24条通 北24条桜大橋

(1)路線の特徴



令和6年3月作成

(2)事業目的

- 自動車交通の円滑性向上
- 歩行者の歩きやすさ向上
- 道路ネットワークの構築
- 災害時の緊急輸送路の確保
- 地域間の連携強化
- 避難所へのアクセス性向上

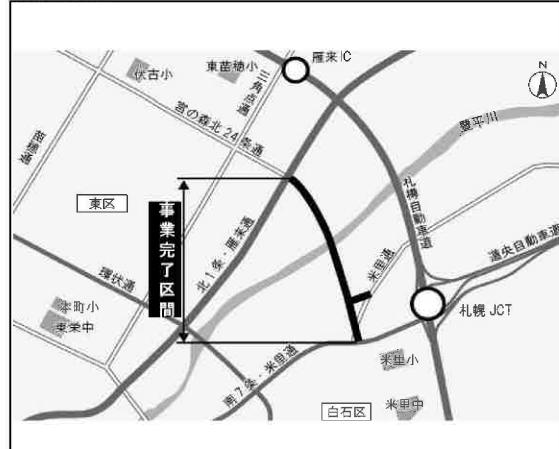
(3)事業概要

| | |
|-----------|-------------------|
| 路線名 | 宮の森・北24条通 北24条桜大橋 |
| 事業区間 | 北1条・雁来通～南7条・米里通 |
| 事業延長 | 1360m (米里通の一部を含む) |
| うち、事業着手区間 | 北1条・雁来通～南7条・米里通 |
| うち、事業着手延長 | 1360m (米里通の一部を含む) |

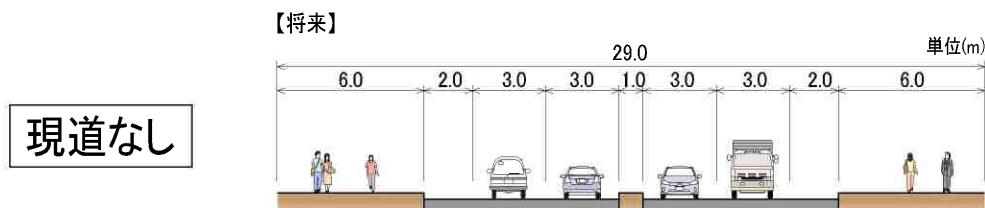
現在の道路の状況



(4)位置図



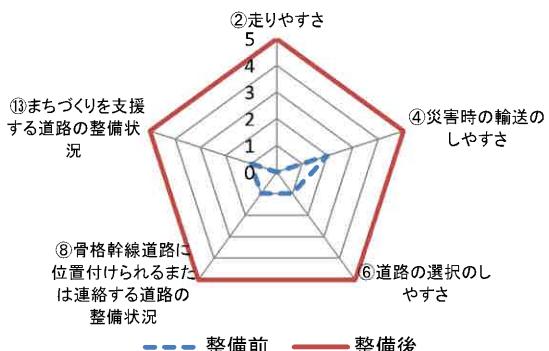
(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

| 指標 | 整備前 | ⇒ | 整備後 |
|-------------------------------|-------------------------------|------|---------|
| ②走りやすさ | 路肩が確保され交通の円滑性が向上 | - | ランク5 |
| 路肩幅員-m | 路肩幅員-m | ⇒ | 路肩幅員2m |
| ④災害時の輸送のしやすさ | 災害時に緊急輸送路として活用可能 | ランク2 | ランク5 |
| 車道幅員0m | 車道幅員0m | ⇒ | 車道幅員17m |
| ⑥道路の選択のしやすさ | 道路の整備により、選択可能な道路が増加 | ランク1 | ランク5 |
| 整備なし | 整備なし | ⇒ | 整備あり |
| ⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況 | 道路整備により都市の骨格となる幹線道路が形性または連絡強化 | ランク1 | ランク5 |
| 整備なし | 整備なし | ⇒ | 整備あり |
| ⑬まちづくりを支援する道路の整備状況 | 道路の整備により、周辺市街地形成を支援 | ランク1 | ランク5 |
| 整備なし | 整備なし | ⇒ | 整備あり |

【グラフ】



(7)備考

上記の他に、⑩防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

新琴似3番通

(1)路線の特徴



令和6年3月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・避難所へのアクセス性向上

(3)事業概要

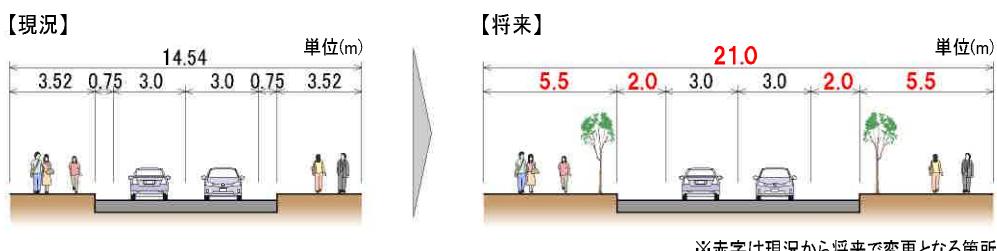
| 路線名 | 新琴似3番通 |
|-----------|-------------|
| 事業区間 | 琴似・栄町通～新琴似通 |
| 事業延長 | 980m |
| うち、事業着手区間 | 琴似・栄町通～新琴似通 |
| うち、事業着手延長 | 980m |
| 現在の道路の状況 | |



(4)位置図

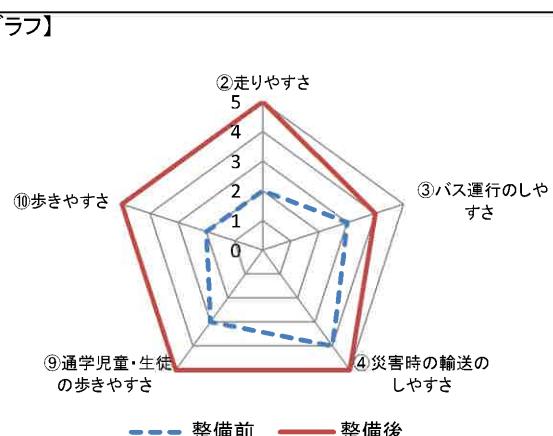


(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

| 指標 | 整備前 | ⇒ | 整備後 |
|----------------|--|---|------------------|
| ②走りやすさ | 路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク2 路肩幅員0.75m | ⇒ | ランク5 路肩幅員2m |
| ③バス運行のしやすさ | 道路が広がりバス運行の円滑性が向上 ランク3 車道幅員7.5m | ⇒ | ランク4 車道幅員10m |
| ④災害時の輸送のしやすさ | 災害時に緊急輸送路として活用可能 ランク4 車道幅員7.5m | ⇒ | ランク5 車道幅員10m |
| ⑨通学児童・生徒の歩きやすさ | 通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク3 歩道幅員3.52m | ⇒ | ランク5 歩道幅員5.5m |
| ⑩歩きやすさ | 歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク2 歩道幅員3.52m | ⇒ | ランク5 歩道幅員5.5m |



(7)備考

上記の他に、⑪避難施設への移動のしやすさ ⑫防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

真駒内御料札幌線

(1)路線の特徴



令和6年3月作成

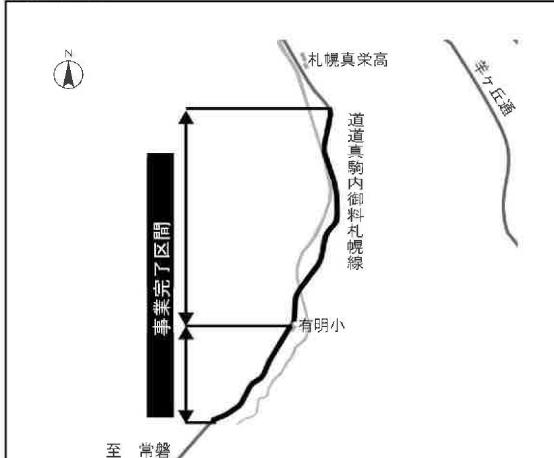
(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・避難所へのアクセス性向上

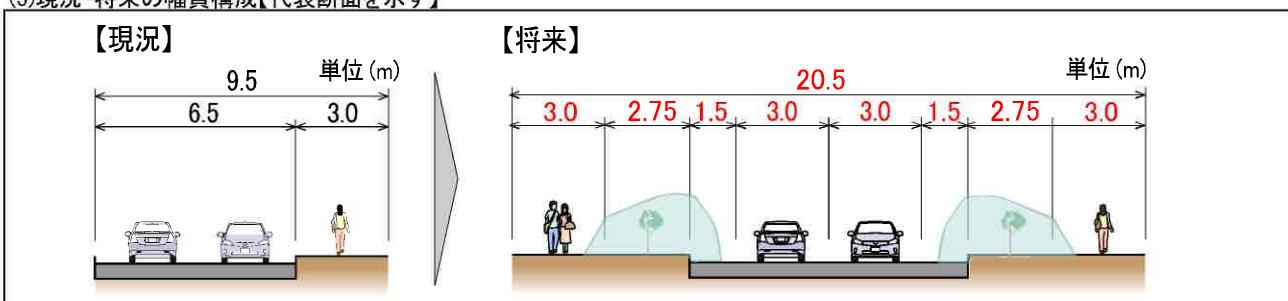
(3)事業概要

| 路線名 | 真駒内御料札幌線 |
|-----------|-----------------|
| 事業区間 | 有明小学校～有明248-2地先 |
| 事業延長 | 1000m |
| うち、事業着手区間 | 有明小学校～有明248-2地先 |
| うち、事業着手延長 | 1000m |
| 整備前 | 整備後 |
| | |

(4)位置図



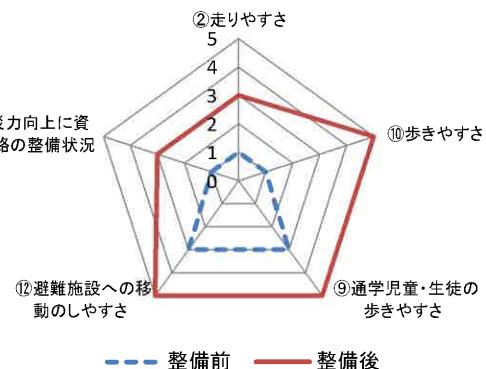
(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

| 指標 | 整備前 | ⇒ | 整備後 |
|-------------------|--|---|-------------------|
| ②走りやすさ | 路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク1 路肩幅員0.25m | ⇒ | ランク3 路肩幅員1.25m |
| ⑩歩きやすさ | 歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員1.5m | ⇒ | ランク5 歩道幅員6m |
| ⑨通学児童・生徒の歩きやすさ | 通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク3 歩道幅員1.5m | ⇒ | ランク5 歩道幅員6m |
| ⑫避難施設への移動のしやすさ | 歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク3 歩道幅員1.5m | ⇒ | ランク5 歩道幅員6m |
| ⑭防災力向上に資する道路の整備状況 | 道路幅員増により道路の防災力が向上 ランク1 道路幅員15m以下 | ⇒ | ランク3 道路幅員15m超 |

【グラフ】



(7)備考

| |
|--|
| |
|--|